

令和元年度第2回射水市自転車活用推進研究会 会議録

1 開催日時

令和2年2月26日（水）午後7時～午後8時45分

2 開催場所

射水市役所（本庁舎）2階会議室202

3 出席者

委員 岩田会長、荒谷副会長、荒木委員、指田委員、高岡委員、
山浦委員

事務局 星野生活安全課長、北川主任

4 議事

(1) 自転車活用推進に向けた検討の進め方について

資料・参考資料1・2

(2) その他

5 委員からの主な意見等

- ・ 新湊のまちなかや海王丸パークなどのベイエリアでは、観光目的での自転車の活用が考えられる。特に、内川周辺では盛り上げていこうという機運が出てきているので、回遊するコースやレンタサイクル等の活用などを考えやすい。
- ・ 海王丸から海竜、海老江海浜公園などの方面も立山連峰が見えて面白いコースになるのではないかと。
- ・ 小杉駅周辺では、旧北陸道などがあるが、内川周辺のような動きや機運はまだないため、観光目的での活用は考えにくい。
- ・ 多くの方が自家用車で移動しており、交通手段として自転車の活用を促すことは、自転車を選択する動機（おしゃれ、便利さなど）やきっかけづくりが必要で、ハードルが高い。レンタサイクル等のハード整備をしたとしても利用されないため、まずはニーズや必要性を把握する必要があると考える。
- ・ 小杉地区では、学生が多く、学校の前にレンタサイクル等のステーションを設置することも考えられるが、徒歩圏内に居住していたり、移動手段として自転車を所有していたり、さらには自家用車を所有する学生

に乗せてもらって移動しているので、学生の利用を促すにもきっかけづくりが必要と考える。

- 富山大学の前にシェアサイクルのステーションが設置されているが、学生は自転車を所有しており、利用しているのは近所に住む人やスーツを着た人などである。射水市内での展開を考える場合には実証実験を通じてニーズや実態を把握した上で活用策を探っていく必要がある。
- 自転車愛好家の人たちはまちなかでのレンタサイクル等には興味がないので、まちなかでの自転車活用では一般層の人の意見が大事になる。
- まちなかを回遊するにもママチャリではなく、電動自転車が適切あると考える。